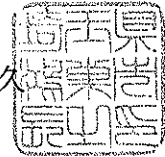




鴻まち 第 77 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

鴻巣市長 原口 和久



中期的な計画の策定にあたっての意見提出について (報告)

時下、貴職におかれましては日頃から市内の国道整備をはじめ道路行政につきまして格別のご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号でご依頼のありました標記の件につきまして別紙のとおり回答いたします。

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

- ・ 重点化を進める上で特に優先度の高い政策
- ・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと
- ・ その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

鴻巣市は埼玉県中央に位置し、平成17年10月に旧吹上町・旧川里町との1市2町で合併し、人口約12万の中核的な都市として新たにスタートいたしました。

合併に際し新市の骨格作りとして、すでに鴻巣市で事業化し建設工事に着手していた鴻巣駅東口駅前再開発や、JR高崎線により分断されている東西の市街地を線下で結ぶ三谷橋大間線の新設道路整備をはじめとした15の事業を計画・事業化し、合併特例債や国土交通省所管の「まちづくり交付金事業」等、国の制度や補助金を有効に活用し厳しい財政状況の中ではありますが、計画的に新市としてのまちづくりを展開しております。

このように着々と新市の整備を進めている鴻巣市にとって現在、又これからも重点的にまた特に優先度の高い道路政策としては、現在、国土交通省によって事業化が進められ工事が進行している上尾道路で、圏央道と上尾道路が交差する桶川 JCT（仮称）から鴻巣市箕田地内の熊谷バイパスまでの区間9.1Kmの早期事業化のお願いでございます。

現国道17号線は、東京及び埼玉県南部と上信越を結ぶ大動脈であります。上尾市以北は鴻巣市箕田までバイパスも無く市街地を通過しており、市民の生活に密着した利用がなされているのが現状であります。幸いにも国土交通省のご理解とご努力により、交差点における右折滞の整備が行われ渋滞が緩和されつつあり、また現在も鴻巣市内においては歩道の整備が行われており歩行者の安全が確保されております。お蔭様で鴻巣市においては平成17年の歩行者の事故は1件もありませんでした。しかしながら、天神交差点等主要な交差点付近の慢性的な渋滞は依然として多く、これらに起因するかわかりませんが鴻巣市内における交通事故は増加傾向にあり、とりわけ国道17号線での事故が非常に多く発生しております。国道17号線の交通事故は次のようになっており、

○ 国道17号線の交通事故状況

	交通事故件数	車両相互事故件数	比	較
平成15年	115 件	86 件	74.8	%
平成17年	215 件	183 件	85.1	%

車両相互の事故につきましては86件から183件となっており212.8パーセ

ントと大きく増加しております。これらの要因として地域における車両の保有台数も大きく関係していると考えております。鴻巣市の車両保有台数は平成18年3月末で43,420戸に対して軽自動車も含め80,218台となっており1戸当たり1.85台保有しておりますが、これは鴻巣市周辺地域の交通手段による移動が自動車に大きく依存していることの特徴と考えられます。

次に、安全安心なまちづくりを目指している鴻巣市では、北本市・桶川市の3市で県央広域事務組合を組織し、消防・防災・火葬場業務に取り組んでおります。特に近年全国各地で発生し大きな被害をもたらしている地震や台風等大きな災害については市単独での対応では費用もかさみ又効果も薄いため、より広域的・縦横断的な取り組みや体制が出来ることにより、初期の対応が可能となり被害を最小限に食い止めることが出来ます。また被災された負傷者の救出や搬送等の対策も大きな課題となっております。しかしながら、鴻巣市には大きな病院が在りませんので総合病院の誘致も検討しておりますが、現状では北本市にあり防災拠点病院に指定されている北里メディカルセンター病院を活用していくしかありません。このメディカルセンター病院は救急医療病院としても日常的に利用されており、県央広域事務組合の3市での救急搬送の利用状況は平成17年度で8082人中メディカルセンター病院へ2218人搬送し全体の27.44パーセント、平成18年度は8123人中2153人で全体の26.50パーセントと非常に高い利用率を示しておりますが、3市とも管内からの搬送には多くの時間もかかっており、一刻を争う搬送時間の短縮が大きな課題となっております。

上尾道路は、この北里メディカルセンター病院のごく近くを通過する計画でありますので事業化されたならば、鴻巣市のみならず北本市・桶川市更には上尾市等沿線の市にとりまして、防災・緊急医療体制作りにも極めて有効かつ効率的な成果が生まれるものと確信しております。更に鴻巣市においては、国土交通省の補助と指導により上尾道路と接する大間内谷地区にスーパー堤防を建設し、防災の新たな拠点とすべく用地買収に取り組んでおります。

新鴻巣市としてスタートし1年半が経過し、現在も全市民で希望に燃えて新たなまちづくりに取り組んでおりますが、上尾道路の実現はまさに新鴻巣市の背骨作りとなるものでありますので、更なる整備促進をお願い申し上げます。